

HSK N P O 法人 「文福」 ニュース ❀❀❀❀



NO.285

### 冒頭の一言

ひな祭りの季節になり少しずつ春めいて、梅の花ももうすぐ咲くのではないのでしょうか。

あの未曾有の惨事を引き起こした能登半島大地震から、もう 2 ヶ月が過ぎようとしています。

まだ復興の最中で大変な思いをされている方が多いと思います。本当に心からお見舞いと、1 日も早く日常の生活が戻られることをお祈りしています。

さて、今号も盛りだくさんの内容となっております。この「障ちゃんニュース」を貴方の大切な時間に加えて頂けたら幸いです。

kaokao

### —もくじ—

冒頭の一言 … 1	令和 6 年能登半島地震 森田知恵 … 2 - 3
penko … 4 - 5	「まっち」28 号の原稿大募集 … 6
今後の予定 … 7	ありがとうコーナー … 8

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
HSK 毎月二二回(一、三、五、八、一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日)発行

## 令和 6 年能登半島地震

森田 知恵

令和 6 年 1 月 1 日能登半島地震、その日は高岡市の実家において、人が集まるでもなく普段の日常生活を過ごしていた。

午後から姪っ子夫婦がわんこ 2 匹と一緒に里帰りをし、実家のわんこを含めて 3 匹を中心に賑やかだった。

姪っ子夫婦が帰り、まわりが落ち着き、自分の部屋で過ごしていたら異変を感じた。そして家の中が大きく揺れた。わんこのまわりには誰もいなかった。すぐに「タビ（わんこ）を一人にさせてはいけない」と思い、私はすぐにわんこがいる部屋に行った。

そしたら、今まで経験したことのない揺れに、わんこは地震を怖がってもの凄く吠えてグルグルと回っていた。わんこのリードが私の体に巻きついたが、私は「大丈夫、大丈夫」と声をかけながら壁に寄りかかっていた。

家が崩れるかと怖かった。両親が飛んできて、母はわんこを抱いて机の下にもぐり、私も揺れがあると机の下にもぐっていた。父は柱にしがみついていた。わんこは数時間、声も出さずに震えていた。実家の灯籠が倒れていた。

両親も「人生で初めての大きな揺れだった。」と言っていた。

何回か大きな揺れを感じながらも私はテレビの速報にくぎ付けになった。携帯でもチェックをしていた。テレビで見た地震と津波の惨状は凄まじいものであった。もし建物の下敷きになっていたらどうなっていたのだろうかと思いをし、その日は怖くて電気をつけっぱなしにして寝た。「何でこんな日に」とショックだった。家族といてよかったと思った。

私に、文福障害者スタッフ一人の方と、いつも利用させてもらっている高岡の介護タクシーの方と、富山市の民生委員さん、一人の障害者の方から安否確認の連絡があった。とても嬉しかった。

次の日、わんこの声で目が覚めてホッとした。天気が良く母に誘われて近所の様子を見に行きお墓は無事だったが、近所の灯籠が倒れていて車が出られない家もあった。お地蔵様がひっくり返っていた。

その日の夜、速報で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突して炎上し、乗務員の迅速な対応で乗客・乗員全員脱出できたというニュースを見た。海上保安庁の機長以外の全員と旅客機のペット 2 匹が犠牲になった。このあとの情報で、海上保安庁の航空機は支援物資を運んでいる途中だったと知り呆然となった。

県西部の一部で被害が大きく、21日までにようやく断水が解消されたそうだ。富山市などでも道路がひび割れたところがある。

この地震で富山市に戻るのが不安になった。戻ってからアパートの人に聞いたら「すごく揺れた」と言っていた。周りの人たちから「実家に行っててよかったね」と言われた。

まだまだ能登地方とかはあたりまえの生活に戻れてなく、不自由な生活を送られているが、前向きに進もうとされている。

今後地震が起きたらどうなるのか考えながら後悔しない日々を送りたい。

被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、尊い命を奪われた方々に対してご冥福をお祈り申し上げます。

2024年2月1日 記



Penko のおひとりさま  
珍道中!! (Part66)

昨年の第九の続き

2023年の12月23日の夕方、オーバード・ホールでのリハーサルがありました。

数日前から雪が積もり、介護タクシーで市電の城川原駅まで送ってもらい、市電に乗って富山駅まで行きました。

ホールの舞台に行くときは普段お客さんが通らないルートを通って、舞台裏に行きました。舞台裏はとても広くて本番の時はオーケストラの方がそれぞれ個人で練習していたのを間近で見ることができました。そして女子高生の皆さんと同じ楽屋でした。

前日のリハーサルで整列と、第九の合唱のほかにアンコールとして「きよしこの夜」「蛍の光」の練習がありました。

そして本番当日(24日)、11時ごろに楽屋入り。指揮者やソリスト・オーケストラの方々とのリハーサル、ドキドキワクワクな時間でした。お昼ご飯を食べ始めたのが14時過ぎでした。

16時開演、第一楽章・第二楽章までは舞台裏で待機して、第三楽章から舞台に出ました。ライトがまぶしかったのとお客さんがたくさんおられて圧倒されたけれど、4年ぶりで楽しみにしておられたんだと思うとやる気スイッチが入り、最高潮に達しました。実は距離は離れていたけれどソリストの方々と同じ列でした。

観客の中に数年ぶりに声をかけてくれた方が何人もいて、驚きました。

そして本番が終わり、お客さんが帰られた後、舞台の上で解団式がありました。練習を休まずに来ることができたので皆勤賞としてワインを頂きました。が、それだけではなく、合唱団員に入ったときにチケットを 4 枚以上売らないといけないというノルマがありまして、家族や知り合いにたくさん買ってもらって、ノルマを達成できたということで、ワインをもう 1 本頂きました。驚きとともにワイン 2 本を車いすに乗ったまま抱えたので「落ちる～、落ちる～」と言いながら舞台そでに待機していたヘルパーさんのところに持っていました。団員の皆さんと「また会いましょう」と言いながら会場を後にし、何かおいしいものを食べようかなといろいろまわったけれど、混んできたりして食べる気がなくなって、結局はマクドナルドにおさまりました。

第九を歌わせてもらうにあたり、合唱連盟や合唱団員のみなさま、送迎してくれた各事業所さま、当日付き添ってくれたヘルパーさん、チケットを買ってくださった皆さん、本当にありがとうございました。

今年は 60 回目となり、12 月 21 日（土）オーバード・ホールであります。今年も出たいと思っています。

興味があったら聴きに来てくれると嬉しいです。

白ワインです。  
ラベルの色が違って、ベートーヴェンの肖像画があります。  
1 本実家にあげました。  
まだ開けてないです。  
カラーで見たい方は、ホームページを見てくださいね。



## 「まっち」 28 号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」27号テーマ『ふるさと』を発行する事ができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をかりてお礼を申し上げます。m( )m

さて、次号のテーマは『花』です。

私達はお祝い、記念日、感謝、労う、弔う時など様々な場面で花を相手に渡します。

また、誕生花や花言葉も色や本数によって意味合いが多種多様です。貴方にとっての『花』に関する事や、『花』から連想される事などを『まっち』にお寄せ下さい。皆さんからのステキな原稿をお待ちしております。

原稿締め切り 2024 年 4 月末日 発行 2024 年 5 月末

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしています。

メールでの投稿は、 [macchitti@gmail.com](mailto:macchitti@gmail.com) に

FAX での投稿は、 (076) 460-0390 に

郵便での投稿は、 〒930-0138 富山市呉羽町 7276 - 3

NPO 法人 文福 『まっち』編集係

までお送り下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。 『まっち』編集者一同



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

### ◎8050問題講演会（ひきこもり）ご案内

諸事情により開催日・場所が変更になりました。

80代の親が50代のひきこもりの子どもの面倒を見ているという「8050問題」について話し合いたいと思います。

日 時：3月23日(土)13:30～15:00

場 所：富山市総合社会福祉センター大ホール  
(富山市社会福祉協議会)

講演者：黒川祥子さん

参加費：無料

申し込み方法：メール・FAXなどで申し込みをお願いします。

お問い合わせ：NPO法人自立生活支援センター富山（平井さん）

TEL：076-444-3753

E-mail:info@cil-toyama.com

### ※文福からお知らせ

ホームページのレイアウトを一部変更しました。今後も随時変更していきますので、見ていただくとありがたいです。



## ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後よろしくお願ひします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



さて、能登半島地震が起きてから、もう、2ヶ月が経とうとしていますが、地震の被害の大きさに驚いています。

私の知り合いも、実家が珠洲で被災しました。3日間連絡が取れずに心配していましたが、何とか無事でした。一人は、家も車もつぶれてしまい、もう一人は、半壊だと言っていました。でも、少しずつ、春になって明るい気持ちになれることを願っています。

(アパッチ) より。

\*いただきもの\*

朝日生命さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 <sup>ぶんぷく</sup> 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。